

Hm²助成支援団体のご紹介

荒れた棚田で楽しむ会

代表 ひらたに かずや
平谷 和也さん

広島市安芸区瀬野の耕作放棄地を整備して、農地や農水路の環境を守ることを目的に、平成25年11月に結成したのが「荒れた棚田で楽しむ会」です。

「もともと農業に興味を持っていた私は、青果市場で働いていました。ある時、知人に耕作放棄地や野水路の環境改善問題に悩むこの地を紹介されて、思い切って方向転換して売る側から、作る側に転じたのがきっかけです」と代表の平谷和也さんは語ります。結成当初は3人でスタートして、現在はその趣旨に賛同した20代から50代の約10人が活動に参加しています。

耕作放棄地の環境改善を通して地域づくりを

「日本の農地は肥沃で、手入れを怠るとすぐに雑草が生える環境にあります。雑草が増えることでその地は荒れて環境面においても良くありません。それを防ぐためには、定期的に草取りをすることが必要ですが、高齢化が進み農業後継者のいない手入れのできない耕作放棄地は荒れるばかりです。実際に手入れをしてみると想像以上に大変な作業であることを実感し、高齢者にとってはかなり負担が大きいことが分かります」。メンバーの皆さんは交代でほぼ毎日、雑草が繁茂する5月から11月にかけて安芸区瀬野地区の約40aの耕作放棄地

農水路の草取りの様子▶



▲ ジャーマンアイリスの定植風景



の除草清掃を行うと同時に、脇を流れる農業用水路の清掃も行っています。

また近隣集落の子どもたちが安心、安全に通学できるように、通学路や集落道の環境改善を進めたり、後継者がいない集落内農地の保全活動を行うことで、住民の方々との日常のコミュニケーションも生まれて、新たな地域づくりにも繋がっています。手入れを行った、かつての耕作放棄地では、リンゴや桃、ぶどうなど15種類の果樹、10種類近くの野菜や花などの栽培が順調に進んでいます。今後は年に3回程度、都市部の住民を招き、集いの会や果樹の収穫体験を行うことで、農業への関心を高め、環境に対する意識の向上に繋がる活動も考えているそうです。

「一般的に見れば若年層の農業への関心度は低く、高齢化が進む今後は、後継者問題に悩む地域も増加して耕作放棄地も広がっていくのでは、と考えています。まずは、世代を超えた様々な人たちに果樹や野菜の栽培収穫体験を通して農業への関心を高めてもらいたい。それらがモデルとなって耕作放棄地の問題について関心を持ってもらって、ここ瀬野以外の地区でも活動の広がりをみせてくれば」と平谷さんは、今後の夢を語ってくれました。

ひろしま輪輪プロジェクト

代表 しょうじ やすひろ
小路 泰広さん

会議風景▶



走行調査の様子▶



広島市内在住の有志を中心に、自転車安全・快適・便利に乘れる環境づくりの実現や、歩行者・自動車・公共交通などとの共存や連携などを目的に、平成25年9月頃から活動を開始したのが「ひろしま輪輪プロジェクト」です。

「平成25年4月に転動で広島にやってきましたが、路面電車が活躍している、人と環境にやさしいまちというイメージだったのが、道路上の混雑ぶりや、特に歩道での自転車のマナーの悪さに驚きました。以前の職場で、自転車が走る空間づくりに携わっていたこともあり、この問題について関心持っている人と意見交換をするなかで、一緒に改善策を考えようと勉強会を立ち上げたのがきっかけです」と代表の小路泰広さんは語ります。

自転車で安全・快適に走れるまちを目指して

小路さん他、マスコミ関係、環境団体、コンサルタントなどさまざまな業種や、自転車好きの人々でプロジェクトの趣旨に賛同したメンバーが、毎月定期的に集まって、交通安全対策や教育、指導のあり方について意見交換。今でもメンバーは増えていて、さらに仲間を募集中とのこと。どうすれば、歩行者と自転車、車などが共存・共栄を図っていけるのかなど、あらゆる角度から自転車の問題について議論を積み重ねているそうです。平成26年2月からは、メンバーが実際に広島市内を自転車で走行し、危険な箇所を調べてマップにしたり、改善策をまとめて、それを行政に提案することも目指しています。

「広島市内では、歩道上を歩行者の間を縫って自転車が走ったり、あふれかえる違法駐輪など、歩行者が安心して歩けない危険な状況があります。一方で、自転車が車道を安全に走れる環境づくりが全国的には進んでいます。ここ広島では大きな道路は自動車に占領されていて車道を走る自転車はほとんどおらず、いたとしても逆走(右側通行)が多いので、何とか改善してきたいと考えています。また、メンバーの提案で、世界遺産を結ぶサイクリングルートの開発にも取り組んでいます。広島が世界に誇る、原爆ドームと宮島という二つの世界遺産は、その間の距離が20kmあまりと、自転車で行くにはちょうどいい距離ですが、途中で通るのに危険な交差点などがあり、ほとんど活用されていません。そこを安全に通れるルートや、途中の立ち寄りスポットなどを紹介したり、危険な箇所を直していけば、世界的にも人気の新しい観光ルートが誕生する可能性があります」。

他にも、ホームページやフェイスブックを使った情報発信に取り組んでいくほか、自転車の正しい乗り方を広めるためのチラシの配布などの啓発活動や、自転車のまちづくりに向けたワークショップの開催なども企画しています。さらに、自転車の活用に関心を持つ人々との意見交換会で集まった情報をまとめて、行政に提言をしていきたいとのこと。自転車で安全・快適に走れるまちを目指すことで、環境や健康にも良く、観光客の誘致、地域経済の好循環にも繋げていきたいという夢を小路さんは語ってくれました。

第12回助成事業

Hm²助成団体



ひと・まち
広島未来づくり
ファンド
ふむふむ
Hm²



▲ 第12回助成事業公開審査会

団体育成助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
PocketPlan	20代を中心とした社会人サークル合同説明会	4.0万円
みんなの寺子屋	昔ながらの遊びをしよう	5.0万円
子どもたちと平和について考えようプロジェクト実行委員会	子どもたちと平和について考えようプロジェクト	3.8万円
荒れた棚田で楽しむ会	耕作放棄地から集いの場へ	4.0万円
鯉城の会	市外から訪れる障害者への介助／鯉城の会	4.8万円
湯来里山会	湯来里山会「畑ガール」プロジェクト	5.0万円
計 6団体		26.6万円

まちづくり活動発展助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
ファッションセラピーの会ヒロシマ	おしゃれに関するふれあい教室(出張も含む)&第6回へアール&ふれあいファッションショー	33.4万円
高陽ニュータウンまちづくり市民会議	子ども・高齢者・地域支援事業	42.6万円
特定非営利活動法人フリースクール木のねっこ	生きる力を育むフリースクール活動	31.6万円
権現峠の自然をまもる会	権現峠の歴史古道伝承による伴中央地域のまちづくり	30.6万円
安花の会	花と緑にかこまれた明るい町づくりを実現する	6.8万円
藤の木学区まちづくり推進協議会	団地東側のり面 花いっぱい運動	47.6万円
八幡東ほうれんそうネット	子どもが主役の遊びで学ぶ防災ワークショップ	36.7万円
基町住宅地区活性化実行委員会	基町マップづくり	22.7万円
NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会	みんなで学ぶ「きょうからイクメンジャー」事業	28.8万円
ひろしま輪輪プロジェクト	自転車で安全・快適に走れるまちを目指して	25.8万円
計 10団体		306.6万円

施設整備助成分野

団体名	活動企画案内	助成金額
森のようちえん まめとっこ	里山の古民家を子育て・親育ちスペースに改修プロジェクト	159.6万円
計 1団体		159.6万円

寄付のお願い

「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていこうという基金です。現在、その基金を取り崩して助成を行っています。私たちの住む広島をよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

☐振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

☐口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。

平成26年5月10日(土)、まちづくり市民交流プラザにて、公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」第12回助成事業の公開審査会を行いました。

今回の助成事業には、33団体(団体育成助成部門7団体、まちづくり活動発展助成部門25団体、まちづくり施設整備助成分野1団体)からの応募がありました。このうち、団体育成部門は書類選考で6団体を決定し、発展部門は16団体、施設整備助成分野1団体が書類審査を通過後、公開審査会に臨み創意工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。審査結果は左表のとおりです。

今後、助成団体による活動状況についての中間発表会を開催します。どなたでもご覧いただけます。

【中間発表会】

- 日時：11月9日(日)午後1時～4時半(予定)
- 場所：まちづくり市民交流プラザ北棟ギャラリー



▲ 第12回助成事業公開審査会

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
ふむふむ
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行います。

平成26年度助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…

【ひと(Hito)まち(Machi)広島(Hiroshima)未来づくり(Mirai-zukuri)ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。「ひと」と「まち」をつなぎ、「広島」の「未来」を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

人材バンク 名人宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録している
まちづくりボランティア人材バンク。地域活動や
まちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを
達人たちがおうかがいしています。



客観的に見て、心を開放的にすることもできます。私も、まだ勉強の途中ですが、

心と身体バランスを崩した人たちに アロマテラピー効果でメンタルケアに役立てる

アロマテラピーで香りのある暮らし
新酒 治代さん

18年前、出産後に巡りあったアロマテラピーを、もともと多くの人たちに知ってもらいたいと考え講師の資格を取得し、平成19年にアロマテラピーの指導者として人材バンクに登録されたのが、新酒治代さんです。



「私自身が慣れない子育てに疲れきって、体調を崩しオーバーヒートした状態の中で偶然出会ったのがアロマテラピーです。不思議なことに心を落ち着けることができたのでその後も、子育ての

広島県の緑化センターなどでアロマテラピーの指導を行っています。「アロマテラピーは、何百種類もある中からそれぞれが気に入った香りを拡散し、楽しむ『芳香浴法』、入浴の際に、アロマを加えることで入浴効果と重なって相乗効果が期待できる『沐浴法』など幅広い使い方があります。自分のコンディショニングに合わせて、香りを楽しむことでバランスが崩れた自律神経を整えたりすることができ、心を落ち着かせて、香りで脳を刺激することで物事を



▲アロマテラピー講座の様子

アロマテラピーに興味を持った人
に焦らずゆっくりとその知識を
教えていきたいと考えています」
新酒さんは、今後は自分自身
が体験した苦しさを取り払ってく
れたアロマテラピーの良さを少し
も伝えることで、同じような悩み
を持つ人たちが、日々のストレスを
軽減したいと思っている人、つい
い頑張りすぎてしまう人たちのサ
ポートができればと考えています。

川の生物、植物の生態を通して 環境問題に取り組む

川の水辺教室
保光 義文さん



して、瀬野川の河口干潟のヘドロ
を取り除くことで、川が活性化
するメカニズムの解明や、ホタル
が生息するきれいな川をめざし
て、ホタルの幼虫を瀬野川の中流
域に放流して川にホタルを呼び
戻す活動をするなど、「貫して川
を通して環境問題に意欲的に取
り組んでいます」。

広島市安芸区を流れる瀬野川水系の水生生物の研究による水質調査や、川の環境に関する現地指導など「川の水辺教室」を開いているのが、保光義文さんです。

き、安芸区内の小学校や、地域の公民館で世代を超えて楽しむことができる出前講座を開くようになりました」。

されて、平成19年には、広島国際学院大学から工学博士号を受けています。

「私がこだわったのが、川の天然ヨシ原の水質浄化力です。ヨシは、たくさんの酸素を生成するとともに、川から窒素やリンを吸収して水をきれいにする浄化作用を持つ植物で、川の下流域から中流域にかけて、主に夏場に成長します。しかし、成長を終えて枯れると分解されて、窒素やリンが川に戻り悪影響を与えます。そこでヨシが枯れる前に刈り取ることが、生物多様性の保全にも繋がるのでは、と考えました」。



▲ヨシ紙加工講座

保光さんは、地元のひとたちと一緒に刈り取ったヨシを加工して、趣のあるヨシ紙に加工する講座なども開いています。



▲ヨシ刈りの様子

川の調査の様子▶

「私が子どもの頃は、近所の川で水生生物を獲って遊んでいましたが、今は川に入ることさえもできない箇所が多くあります。少しでも川をきれいにし、また子どもたちが遊べる環境を作ることが私のやりがいです。そのためにも、日々状況が変わっていく川のデータを蓄積して、環境改善に繋がるようにしたいです」と、保光さんは語ってくれました。

まちづくりボランティア
人材バンクは「達人の宝庫」、
ぜひ活用ください！

地域活動や手づくりイベントなど市民の皆さんが活動する中で、「アドバイスがいし」「教えてほしい」と思うことはありませんか？困った時には、その道の「達人」に講師や指導者をお願いするのが一番です。

まちづくりボランティア人材バンクでは、「達人」の紹介・コーディネートを行っています。人材バンクには、現在270を超える達人たちが登録しています。ジャンルは、学習・子育て、社会・歴史、家庭生活、国際理解・語学、スポーツ・レクリエーション等、非常に幅広く、市民の皆さんのご要望にお応えできる達人が、きっと見つかるはずです。

人材バンク登録内容リストや情報ネットワークの中から紹介してほしい登録者が見つかったら、まずはお気軽に「プラザ」へご相談ください。
所定の紹介申込書の提出（FAX可）、または電話や面談等による聞き取りで、登録者への依頼内容を確認させていただきます。その後、まずはプラザから登録者に連絡をして、ご都合を伺います。ご理解が得られれば、申込団体に連絡先を通知し、双方で打ち合わせをしていただきます。

登録者への謝礼金はありませんが、交通費・資料代・材料費などの実費については、申込団体に「ご負担いただきます」。

達人たちの情報が満載の人材バンク登録内容リストはプラザや公民館などでご覧いただけます。プラザでは無料配布しています。
また、ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimn.jp/hirshima.jp/>
でも見ることが出来ます。
なお政治・宗教・営利目的や個人の依頼、または、長期継続プログラムにはお応えできません。

まちづくりボランティア 人材バンク発表会

今回ご紹介している方々は、「まちづくりボランティア人材バンク」に登録されています。

登録者が自らの達人ぶりを披露します。参加は自由ですので、気軽に立ち寄りください。

日時 毎月第4土曜日 午後2時～4時
場所 南棟1階ロビー
参加費 申込不要

月 日	内 容	出演者名
8月23日(土)	ふたつのバイオリンによるミニコンサート	渡辺 久美子さん 吉岡 美沙子さん
9月27日(土)	ユニセフの国際理解・協力活動	広島県ユニセフ協会
10月25日(土)	中国民族舞踊	三浦 琉璃さん
11月22日(土)	いくつになっても、椅子に座ってできる健康運動	青江 孝信さん

※内容等変更になる場合があります。

達人紹介・達人登録などの
お問い合わせは...

まちづくり市民交流プラザへ
☎(082) 545-3911
☎(082) 545-3838